

調査目的	「三木市立地適正化計画」策定の参考に日常生活で感じる思いやお住まいの地域を取り巻く環境の実態について、率直なご意見をお伺いするため
調査対象	三木市の東播都都市計画区域内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に抽出した3,000名
調査方法	郵送法(郵送による調査票の配布・回収)とWeb回答の併用
配布期間	郵送日:令和5年8月1日 締切日:令和5年8月22日
回収率	34.9%(1,046票回収/3,000票配布)

■ 居住歴別

「三木市での居住歴」より、「生まれてから、ずっと三木市に住んでいる」(全体の約2.5割)、「三木市出身で、いったん市外に転出したが、現在は三木市に住んでいる」(全体の約1割)、「三木市以外の出身だが、現在は三木市に住んでいる」(全体の約6.5割)別に、意識や考え方、生活行動にどのような差が見られるかを把握するために、居住歴別クロス集計を行った。

- ・グラフ内の数字は「票数、割合」の表示。
- ・以下、調査結果の概要に掲載している割合(%)は、四捨五入のため、内訳合計が100%にならない場合がある。
- ・タイトルは、「●質問事項(回答者・回答方法)」

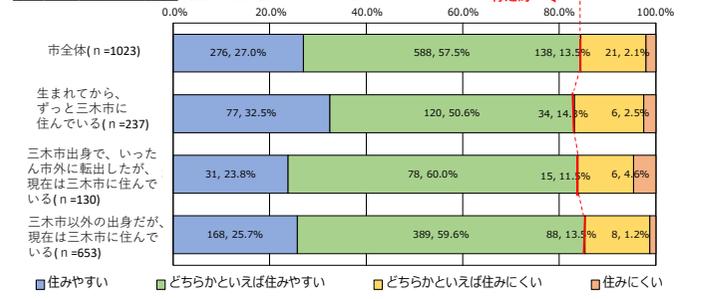
●市内への転入理由

(「生まれてからずっと三木市に住んでいる」以外の回答者・複数回答)

属性	1位	2位	3位	4位	5位
三木市出身 いったん転出し戻ってきた(n=126)	ふるさとだから 親子近居のため(34.9%)	進学・転勤・就業のため(25.4%)	結婚のため(12.7%)	親の介護のため(11.9%)	
他市町出身で、現在は三木市に在住(n=653)	住宅取得が容易のため(28.6%)	結婚のため(27.3%)	進学・転勤・就業のため(17.6%)	生活環境がよい(14.4%)	その他(11.0%)

- ・三木市出身でいったん転出し戻ってきたは、「ふるさとだから」及び「親子近居のため」が同率で最も多く、3割を超えている。
- ・他市町出身で現在は三木市に在住は、「住宅取得が容易のため」が最も多く、「結婚のため」も同程度の割合がみられる。

●市の住みやすさ(全回答者・単一回答)



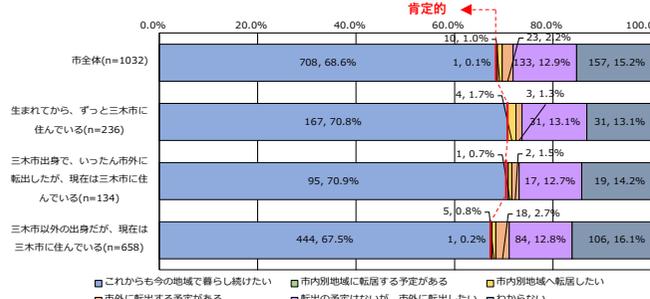
- ・「住みやすい」は、生まれてからずっと三木市に住んでいるが最も多く、3割超となっている。
- ・「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた肯定的な評価は、どの居住歴も割合はあまり変わらない。

●三木市の魅力(全回答者・複数回答)

属性	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,017)	災害が少ない(58.6%)	豊かな自然環境(44.1%)	静かな住環境(41.8%)	治安がよい(27.0%)	買い物等の生活の利便性(24.3%)
生まれてからずっと三木市在住(n=229)	災害が少ない(63.3%)	豊かな自然環境(47.6%)	静かな住環境(32.3%)	治安がよい(30.1%)	買い物等の生活の利便性(21.0%)
三木市出身 いったん転出し戻ってきた(n=129)	災害が少ない(65.1%)	豊かな自然環境(43.4%)	静かな住環境(38.0%)	買い物等の生活の利便性 治安がよい(23.3%)	
他市町出身で、現在は三木市に在住(n=654)	災害が少ない(55.7%)	静かな住環境(45.9%)	豊かな自然環境(43.0%)	治安がよい(26.6%)	買い物等の生活の利便性(25.7%)

・どの居住歴も「災害が少ない」、「豊かな自然環境」、「静かな住環境」が上位3つを占めており、買い物等の利便性も上位に入っている。

●三木市に暮らし続けたいか(全回答者・単一回答)



【肯定的】「これからも今の地域で暮らし続けたい」「市内の別地域に転居する予定がある」「市内の別地域へ転居したい」
 : 全体 69.7%、三木市出身者では7割を超える、(否定:全体15.1%)
 三木市以外の出身者は、市内に暮らし続けたい割合が少し少ない

●市外に転居・転出する理由・したい理由

(「市外に転出する予定がある」「転出の予定はないが、市外に転出したい」の回答者・複数回答)

属性	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=162)	目的地までの移動に時間がかかるから(58.0%)	商業施設が充実していないから(37.7%)	医療サービスが充実していないから(22.2%)	まちに活気がないから(21.6%)	その他(16.0%)
生まれてからずっと三木市在住(n=38)	目的地までの移動に時間がかかるから(55.3%)	商業施設が充実していないから(31.6%)	一度は他のまちで暮らしたいから(21.1%)	地域のつきあいがわづらわしいから(18.4%)	まちに活気がないから(15.8%)
三木市出身 いったん転出し戻ってきた(n=20)	商業施設が充実していないから(55.0%)	目的地までの移動に時間がかかるから(50.0%)	まちに活気がないから 仕事の関係から(30.0%)	医療サービスが充実していないから(25.0%)	
他市町出身で、現在は三木市に在住(n=103)	目的地までの移動に時間がかかるから(60.2%)	商業施設が充実していないから(36.9%)	医療サービスが充実していないから(26.2%)	まちに活気がないから(22.3%)	その他(16.5%)

- ・どの居住歴も「目的地までの移動に時間がかかるから」、「商業施設が充実していないから」が上位の2つを占めている。
- ・特に、他市町出身で現在は三木市に在住の「目的地までの移動に時間がかかるから」は6割を超えている。
- ・市外での居住経験がある、「生まれてからずっと三木市在住」以外の回答者では、「医療サービスが充実していないから」という回答が2.5割以上となっている。

●公共交通改善に求めること(全回答者・複数回答)

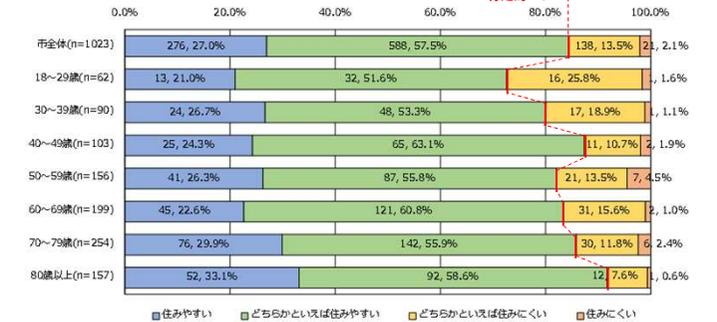
属性	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=933)	バスの運行頻度の増加(32.9%)	鉄道の運行頻度の増加(24.1%)	運賃の割引 拡充(17.8%)	デマンド型 交通の導入(15.1%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(16.3%)
生まれてからずっと三木市在住(n=219)	バスの運行頻度の増加(31.1%)	鉄道の運行頻度の増加(23.7%)	デマンド型 交通の導入(19.2%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(16.9%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(14.2%)
三木市出身 いったん転出し戻ってきた(n=127)	バスの運行頻度の増加(29.1%)	鉄道の運行頻度の増加(26.0%)	運賃の割引 拡充(22.0%)	デマンド型 交通の導入(17.3%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(16.5%)
他市町出身で、現在は三木市に在住(n=583)	バスの運行頻度の増加(34.5%)	鉄道の運行頻度の増加(23.8%)	運賃の割引 拡充(19.4%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(16.3%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(16.1%)

・どの居住歴も、運行頻度の増加が上位の2つを占めている。

■ 年代別

年代別の意向を把握するために、10歳階級ごとに年代別クロス集計を行った。
 ※10代は18~19歳のみと極端に少ないことから(単純集計で8名)、10代と20代を合わせて集計する。

●市の住みやすさ(全回答者・単一回答)



【肯定的】「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」
 : 全体 84.5%、80歳以上 9割超、40代 9割近く

【否定的】「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」
 : 全体 15.5%、39歳以下の若年層は否定割合が少し多い

●三木市の魅力(全回答者・複数選択)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
18~29歳(n=62)	豊かな自然環境(48.4%)	災害が少ない(35.5%)	静かな住環境(33.9%)	治安がよい(21.0%)	高速道路や一般道路等、広域交通の利便性(17.7%)
30~39歳(n=91)	災害が少ない(45.1%)	豊かな自然環境(40.7%)	静かな住環境(36.3%)	買い物等の生活の利便性(28.6%)	高速道路や一般道路等、広域交通の利便性(27.5%)
40~49歳(n=104)	静かな住環境(48.1%)	豊かな自然環境(44.2%)	静かな住環境(45.2%)	治安がよい(26.9%)	買い物等の生活の利便性(17.3%)
50~59歳(n=155)	災害が少ない(63.2%)	豊かな自然環境(46.5%)	静かな住環境(45.2%)	治安がよい(27.1%)	高速道路や一般道路等、広域交通の利便性(21.3%)
60~69歳(n=195)	災害が少ない(61.0%)	静かな住環境(44.6%)	豊かな自然環境(41.5%)	買い物等の生活の利便性(28.2%)	治安がよい(23.6%)
70~79歳(n=253)	災害が少ない(64.4%)	豊かな自然環境(42.7%)	静かな住環境(42.7%)	治安がよい(31.2%)	買い物等の生活の利便性(29.6%)
80歳以上(n=154)	災害が少ない(67.5%)	豊かな自然環境(47.4%)	静かな住環境(36.4%)	治安がよい(28.6%)	買い物等の生活の利便性(20.1%)

・どの年代も「災害が少ない」、「豊かな自然環境」、「静かな住環境」が上位3つを占めており、買い物や交通の利便性への回答も多い。

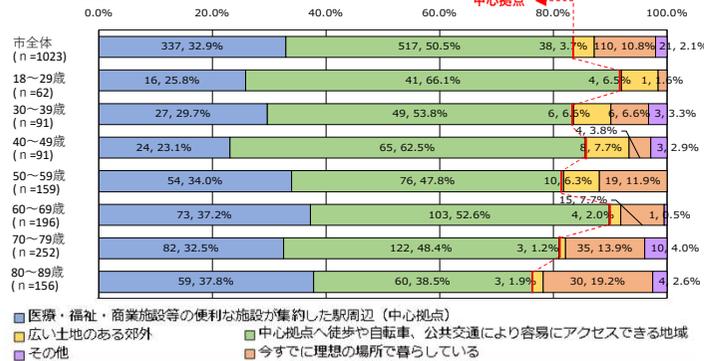
■年代別(つづき)

●住みよさは(全回答者・複数回答)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
全体(n=1,019)	災害が少ない(38.1%)	買い物の利便がよい(36.2%)	居住環境がよい(31.8%)	交通事情がよい(28.7%)	自然環境に恵まれている(28.7%)
18~29歳(n=62)	交通事情がよい(54.8%)	居住環境がよい(40.3%)	買い物の利便がよい(29.0%)	子育て環境がよい(24.2%)	
30~39歳(n=91)	買い物の利便がよい(49.5%)	交通事情がよい(37.4%)	居住環境がよい(34.1%)	子育て環境がよい(26.4%)	治安がよい(25.3%)
40~49歳(n=104)	交通事情がよい(46.2%)	買い物の利便がよい(40.4%)	居住環境がよい(26.9%)	自然環境に恵まれている(24.0%)	災害が少ない(23.1%)
50~59歳(n=157)	交通事情がよい(39.5%)	居住環境がよい(35.0%)	買い物の利便がよい(34.1%)	災害が少ない(28.7%)	治安がよい(28.7%)
60~69歳(n=192)	災害が少ない(43.2%)	買い物の利便がよい(40.6%)	居住環境がよい(31.8%)	交通事情がよい(30.2%)	自然環境に恵まれている(26.6%)
70~79歳(n=255)	災害が少ない(51.0%)	自然環境に恵まれている(34.1%)	買い物の利便がよい(33.3%)	居住環境がよい(33.3%)	治安がよい(29.0%)
80歳以上(n=154)	災害が少ない(48.7%)	自然環境に恵まれている(44.2%)	居住環境がよい(31.2%)	治安がよい(30.5%)	

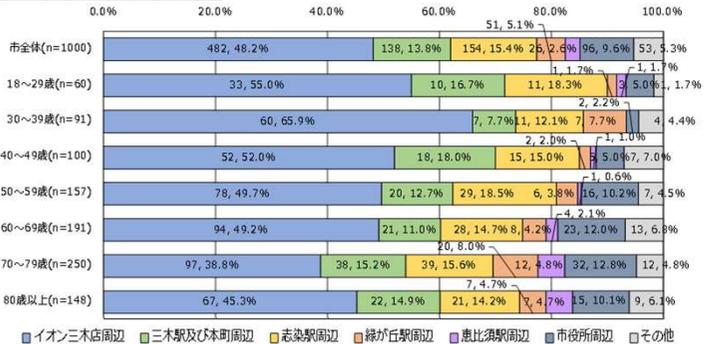
・「住みよさ」について、20代から50代の現役世代は「利便性」を、60代以上は「安全」や「自然環境」を挙げる傾向がみられる。

●将来住みたい場所(全回答者・単一回答)



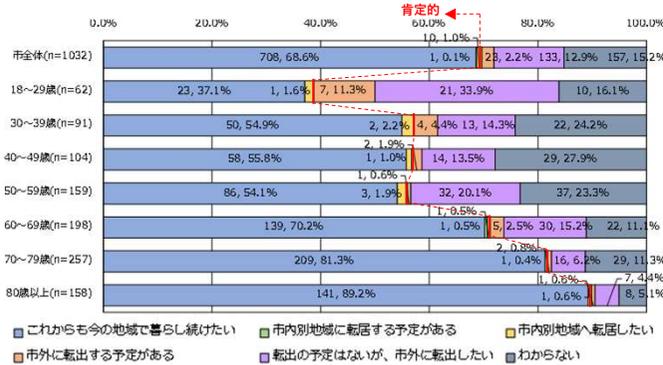
・どの年代も「中心拠点」や「中心拠点に容易にアクセスできる地域」が多く、特に18~29歳や60~69歳では9割前後である。

●三木市の中心的な場所(全回答者・単一回答)



・30代では「イオン三木店周辺」の割合が他年代と比べて大きい。
・年代が高くなるにつれて「市役所周辺」が若干多くなる傾向がある。

●三木市に暮らし続けたいか(全回答者・単一回答)



【肯定的】「これからも今の地域で暮らし続けたい」「市内別地域に転居する予定がある」「市内別地域へ転居したい」
：全体 69.7%、60歳以上と以下で割合が大きく異なる

【否定的】「市外に転出する予定がある」「転出の予定はないが、市外に転出したい」
：全体 15.1%、29歳以下では否定が肯定を上回っている

●市外に転居・転出する理由・したい理由

(「市外に転出する予定がある」「転出の予定はないが、市外に転出したい」の回答者・複数回答)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
18~29歳(n=29)	目的地までの移動に時間がかかるから(62.1%)	商業施設が充実していないから(48.3%)	仕事の関係から(34.5%)	一度は他のまちで暮らしたいから(20.7%)	働く場所がないから(13.8%)
30~39歳(n=19)	目的地までの移動に時間がかかるから(57.9%)	商業施設が充実していないから(42.1%)	仕事の関係から(31.6%)	まちに活気がないから(21.1%)	公共施設が充実していないから(15.8%)
40~49歳(n=17)	目的地までの移動に時間がかかるから(70.6%)	商業施設が充実していないから(41.2%)	医療サービスが充実していないから(29.4%)	まちに活気がないから(29.4%)	その他(17.6%)
50~59歳(n=35)	目的地までの移動に時間がかかるから(54.3%)	商業施設が充実していないから(42.9%)	医療サービスが充実していないから(28.6%)	まちに活気がないから(25.7%)	地域のつきあいがわずらわしいから(22.9%)
60~69歳(n=34)	目的地までの移動に時間がかかるから(47.1%)	商業施設が充実していないから(32.4%)	医療サービスが充実していないから(26.5%)	まちに活気がないから(26.5%)	その他(20.6%)
70~79歳(n=19)	目的地までの移動に時間がかかるから(68.4%)	医療サービスが充実していないから(31.6%)	地域のつきあいがわずらわしいから(26.3%)	商業施設が充実していないから(21.1%)	福祉サービスが充実していないから(21.1%)
80歳以上(n=8)	目的地までの移動に時間がかかるから(62.5%)	医療サービスが充実していないから(37.5%)	商業施設が充実していないから(25.0%)		

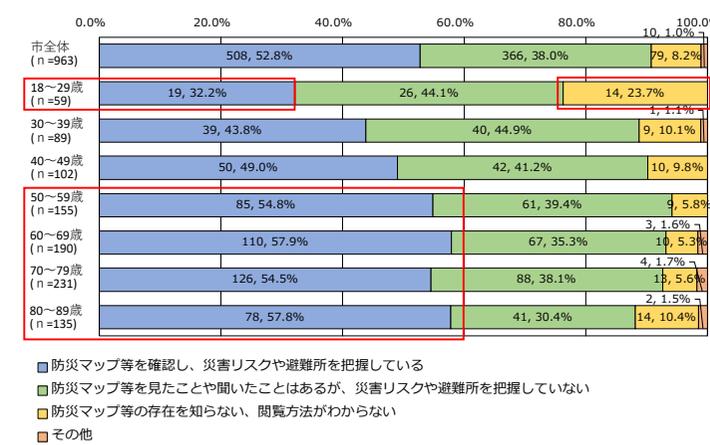
・どの年代も「目的地までの移動に時間がかかるから」の割合が最多。
・2位以下は年齢層による特徴が表れている。
・60代までの年代では「商業施設が充実していないから」が、70代以上では「医療サービスが充実していないから」の割合が多い。
・18~29歳、30~39歳では「仕事の関係から」が3割を超えている。

●公共交通改善に求めること(全回答者・複数回答)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
18~29歳(n=60)	鉄道の運行頻度の増加(45.0%)	バスの運行頻度の増加(33.3%)	鉄道の運行時間の拡大や終電の繰り下げ(16.7%)	運賃の割引拡充(16.7%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(15.0%)
30~39歳(n=89)	鉄道の運行頻度の増加(39.3%)	バスの運行頻度の増加(34.8%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(20.2%)	運賃の割引拡充(13.5%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(11.2%)
40~49歳(n=101)	バスの運行頻度の増加(30.7%)	鉄道の運行頻度の増加(24.8%)		バスや鉄道の乗り継ぎの改善(15.8%)	デマンド型交通の導入(15.8%)
50~59歳(n=149)	鉄道の運行頻度の増加(27.5%)	バスの運行頻度の増加(26.8%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(22.1%)	運賃の割引拡充(20.8%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(14.8%)
60~69歳(n=187)	バスの運行頻度の増加(28.9%)	鉄道の運行頻度の増加(25.1%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(19.8%)	デマンド型交通の導入(19.3%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(18.7%)
70~79歳(n=220)	バスの運行頻度の増加(35.9%)	運賃の割引拡充(20.0%)	デマンド型交通の導入(19.1%)	駅周辺の駐車場・駐輪場の整備(18.2%)	鉄道の運行頻度の増加(15.0%)
80歳以上(n=124)	バスの運行頻度の増加(41.9%)	バス路線・停留所の変更、増設(26.6%)	デマンド型交通の導入(16.9%)	運賃の割引拡充(15.3%)	バスや鉄道の乗り継ぎの改善(14.5%)

・どの年代も、おおむね上位の2つを占めている「バスの運行頻度の増加」、「鉄道の運行頻度の増加」や、運行時間や運賃、路線に関する事など、既存公共交通の強化が求められている。
・70代以下では、「駅周辺の駐車場・駐輪場の整備」も求められている。
・「スマホアプリ」や「レンタルマイクロモビリティ」などの新しい技術を望む意見は、あまりみられなかった。

●自宅周辺の災害リスク・避難所等の把握状況(全回答者・単一回答)



・50代以上は「防災マップ等を確認し、災害リスクや避難所を把握している」が半数以上を占めているが、若年層、特に18~29歳は約3割と少なくなっている。
・18~29歳では、2割以上が「防災マップ等の存在を知らない、閲覧方法がわからない」と回答しており、他年代に比べて防災マップ等に馴染がない人が多いことが窺える。